



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう

解答例



静岡新聞

2022年 4月20日夕刊

記事を読んで、問いに答えましょう。

最盛期を迎えたコシヒカリの田植え 20日午前 菊川市中内田



穀雨 潤う大地

菊川、田植え最盛期

20日は二十四節気の「穀雨」。種まきや田植えの時期に春の雨が降り、田畑を潤すころとされる。県内は高気圧に覆われて晴れの天気となったが、気圧の谷の影響で所により雲が広がった。気象庁によると、県内各地の最低気温は静岡13・8度、浜松12・4度、三島13・6度など。

菊川市内田地区の水田では、「コシヒカリ」の田植えが最盛期を迎えた。早朝から田植え作業などで汗を流した農家の高塚享佑さん(38)は「苗の生育はとても良い。8月中旬から下旬には収穫できそう」と話した。

(写真部・宮崎隆男)

①「穀雨」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。(**こくう**)

②記事の農家はどんなことを願って田植えをしていると思いますか。

(**(例) 苗が順調に育ってお米がたくさん収穫できますように。
自然災害や病虫害の影響を受けないで、無事に育ちますように。 など**)

③「田植え」と二十四節気の「穀雨」とはどんな関係があると考えられますか。記事からわかることを40字以内にまとめて書きましょう(句読点を含む)。

(例) 春の雨が降り、田畑を潤す穀雨のころは田植えをするのにふさわしい時期という関係。(39字)
田植えの最盛期が田畑を潤す春の雨が降る穀雨のころというのは時期が合っている。(38字) など

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校/社会、理科、総合)

年 組 名前